



高石小学校だより

『 たくましい子・かっこいい子・いよくのある子・やさしい子 』



2022
3.16
NO.35
文責:弘瀬

～ヒマワリの種・絵本寄贈式～

今年、10月に1・2年生が種取りをした「はるかのはまわり」を、来年度は新居小学校と宇佐小学校も一緒に3校が防災教育に関連して取り組むことになりました。

15日に(株)ダイナムさんより地域の民生委員さん、協力者の皆さん、高石保育園園長、土佐市教育委員会、3校の校長教頭参加のもと寄贈式が行われました。

種は3月11日に1・2年生が袋詰めしてくれたものです。

また、昨年度今の6年が学習発表会で発表した2011年東日本大震災後の大川小のはまわりは、さらにその前の1995年の阪神・淡路大震災で亡くなったはるかのはまわりに由来しているそうです。今回その絵本も27冊寄贈していただきました。



～学校評価アンケート結果③～

【その他】

＜子ども、保護者、地域の声の反映＞



		昨年	今年
児童	学校や先生は、あなたたちの意見や希望を聞いてくれますか。	4.7	4.6
保護者	学校は、児童や保護者・地域住民の意見を聞き、その声を学校運営に反映していると思いますか。	4.0	3.9
教職員	あなたは、保護者や地域住民の意見を学校及び学級運営に反映させていますか。	3.8	3.6
教職員	あなたは、地域の環境や人材を教育活動に活かしていますか。	3.9	3.5

<保護者からの相談>

保護者	保護者として悩みや困ったことなどを教職員に相談できますか。	4. 2	3. 7
教職員	保護者は、悩みや困ったことについて教職員に相談していると思いますか。	3. 8	3. 3

<情報提供>

保護者	学校は、家庭への連絡や情報提供を積極的に行っていると思いますか。	4. 2	3. 9
教職員	あなたは、家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか。	4. 1	3. 7

<対応の仕方>

保護者	教職員は、電話対応やあいさつがよくできていると思いますか。	4. 6	4. 4
教職員	あなたは、子どもたちや保護者・来訪者に対して、積極的な挨拶や丁寧な電話対応ができていますか。	4. 5	4. 3

【子ども・保護者・地域の声の反映】については、昨年度の評価と比べると下がっている項目が多くあります。唯一児童の「学校や先生は、あなたたちの意見や希望を聞いてくれますか。」の項目は昨年度とほぼ変わっていないことはうれしいことです。コロナ禍でも学習や行事をできるだけ止めないという方針でやってきました。教職員も子ども達と相談しながら工夫してやってきた成果だと思えます。

【保護者自由表記より】

保護者より	学校より
これからもこのコロナとは一緒に暮らしていけないといけな時代になっているので、行事など感染者数が減っている時にパーッと済ませる体制が教育委員会と各 PTA と学校でできるようになればいいかなと思います。	教育課程上難しいこともありますが、できるところは工夫していきましょう。
人数が少ない学校で卒業アルバムの一人当たりの負担も大きい。積み立て対策など学校も協力してくれたらよりありがたいです。6年間子どもたちの為にご指導いただきありがとうございます。	PTAの会で検討をしていきます。
高石小学校の子ども達は元気がよく子どもらしいという印象が強くてとても良いなと思います。学年関係なく一緒に遊び接する時間も多と思うのですが、言葉遣いの悪いところが目立ちます。話に聞いたりもしますが、「ゴミ」「クズ」などと…多分先生の前では言ってないと思いますが…。人を傷つけない！嫌なことを言わない！シンプルだけどできていない子がいると思うのでよろしくお願いします。	言葉使いについては学校としても課題と考えています。特に下級生に対する言葉がけの影響は大きく、傷つけたり、言いたいことも言えなくなったりするなど心配です。学校としても力を入れて取り組んでいきます。
最近の高石小学校は以前と少し変わってしまったように思います。上級生が下級生に優しくすることは当たり前のようにされていたけれど、子どもの話を聞いていると、上級生が下級生に「死ぬ」と言ったり、どの過ぎたちょっとかけ方をしたりしていると聞き、残念に思っています。全校がみんな仲良い反面、そういう姿は残念に思っています。優しく思いやる雰囲気のある学校だと思っていたので少し心配です。	

昨年学校評価でいただいたご意見の中から、今年度はアンケートのオンライン化や性教育などを実施しました。今年度コロナ禍で参観日も年間6回計画で、3回実施、2回オンライン、1回は学校だよりでお知らせとなり、実際に保護者や地域の皆様と直接顔を会わせる機会が減りました。行事等についても学校で決定し、保護者や地域の皆様をお願いする形を取らざるを得ませんでした。ですが、コロナ禍でもできる取組や発信をこれからも模索していきます。保護者の皆様も気になる事がありましたらいつでも電話、メールや連絡帳など担任、教頭、校長までお願いいたします。